

2000

Salmon Arm → Azuma

3/26~4/2

～ゲストとホストと楽しい一週間～



吹奏楽部のお出迎え (東中)



『サムライ』の気分 (東中)



茶道の心はふれて (東中)



日本もカナダもサインはV

ホストファミリーのみなさん

吉田紗弥香(中2 福田) 根本照子(中3 西代) 大野恭義(中2 清久島)
 草野由子(中2 本新) 黒沼雄太(中3 本新) 佐藤陽子(中3 阿波)
 久保田隆之(中3 本新) 根本 彩(中2 橋向) 大沼孝洋(中2 本新)
 板橋 梓(中2 福田) 都築洋和(中2 結佐) 坂本伸治(中2 八筋川)
 根本雅彦(中2 結佐) 青木景子(中3 上之島) 太田陽野(高3 西代)
 森田里奈(高2 町田) 山口勝夫(一般市 崎) 黒田保彦(一般上須田)
 板橋 要(一般市 崎) 木内義延(一般押砂) 飯塚幸一(一般市 崎)
 飯田光男(一般清水) 吉田 薫(一般伊佐部) (*学年は当時)



『大吉』? (成田山新勝寺)



SAYONARA PARTY
 Azuma-made Salmon Arm Friendship



▲こたつを囲んで和気あいあい(吉田家)

◀サヨナラパーティー 全員集合(総合センター)

INFORMATION

○中学生、高校生をカナダへ派遣

今年も姉妹都市カナダ・サーモンアーム市へ青少年親善大使の派遣を予定しています。一週間のホームステイを通し異国の文化とカナダの大自然を体験してみませんか。詳しい募集案内は広報あずま4月号に掲載します。

○姉妹都市交流委員会にご協力を!

委員会では、青少年親善大使派遣事業・ホームステイ受入事業、文化祭への参加など、幅広い交流の推進を展開しています。皆さんのサポートをお待ちしています。

○今年もカナダ・サーモンアーム市から親善使節団が来町し、3月24日から4月1日までの8日間、ホームステイにより滞在し交流を深める予定です。ご協力をお願いいたします。

編集後記

「姉妹都市」もNo.6を発行する運びとなりました。メンバーである、板橋 要、飯塚幸一、井上真由美、新里清子、吉田多嘉子が役場総務課の協力を得て編集に当たってきました。年1回の発行は予算や時間的な問題もあって、交流の足跡を十分お伝えすることができない状態です。しかし、一同和気あいあいの中でいろいろアイディアを出し合いながら6号までこぎつけました。

姉妹都市交流の中で、留学したひと、卒業してスチュワーデスになったひと、成田のホテルで働いているひとなど、それぞれに頑張っているという情報が入ってきています。

文化祭の展示発表でも沢山の人が目をとめて見てくれました。それらに励まされ、今後とも「姉妹都市」の編集に頑張っていきます。感想があったらお寄せ下さい。(吉田)

あずま

●東町姉妹都市交流委員会機関誌●

姉妹都市

Sister Cities



サーモンアーム

No. 6
2001.3

友情の門前で抹茶を味わう面々

伝統文化を伝えて大きな親善

— 2000, サーモンアーム一般訪問団 —

友情の門がサーモンアームの地に建って2年目。公園の一角にあるこの門が訪れる人の目を楽しませ、すっかり馴染みとなって日加の親善に役かっているということです。

昨年5月、一般訪問団はこの建築に当たった板橋要さんを中心としたグループでした。板橋さんは苦勞を支えてくれた奥さんに、是非ともこの門を見せたいと思っていました。やっとその機会が訪れ、仕事を共にした永長さんや友人の山口さん夫妻にも声かけをして訪問団が結成されました。友情の門の建築に携わった人達の来訪とあって、当地では市長さ

んはじめ関係者の大歓迎を受けました。

写真に見られるように、板橋、山口夫妻は和服姿で日本の文化である茶道・華道を披露しました。ハッピー姿の市長さんがじっくりと抹茶を味わっている姿が印象的です。カナダの人達も大変興味を示していました。

茶道具・花器などをはじめ、お菓子まで日本から運んだという積極的な親善の姿勢に、ただ頭が下がります。一団のみなさんに心からお礼申し上げます。確かな足跡が一步一步刻まれていくことを確信します。

Salmon Arm 2000

第10回
親善大使団 16名

7月23日～8月2日

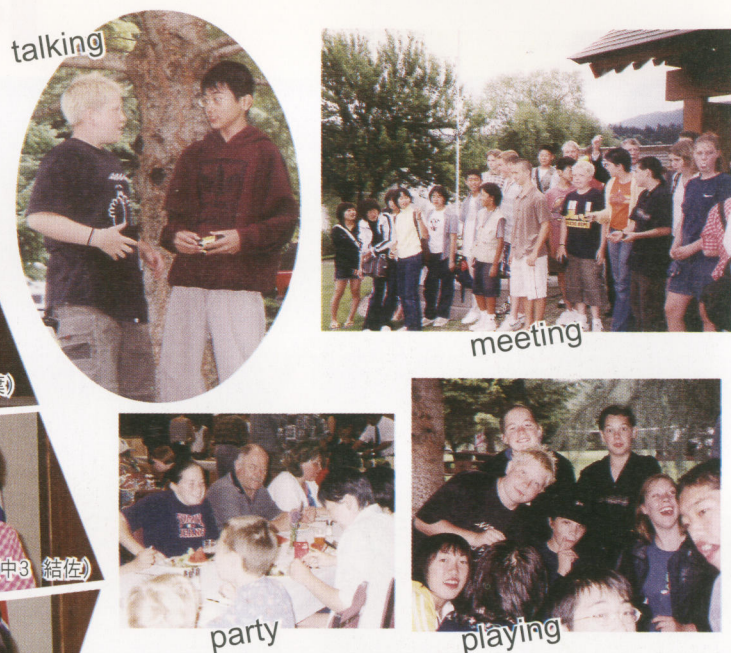
Member



多感な時期に貴重な体験を

団長 木内 義延

青少年親善大使団を引率してサーモンアーム市を訪問致しました。親善大使としての公式訪問ですので、市やホームステイ先の各家族の皆さんから大変な歓迎を受けました。生徒達は生活習慣の違いにもすぐに慣れ、言葉の壁を乗り越えて各家庭での生活とカナダの自然にとけこんでいきました。中学時代という非常に多感な時期に、短期間ではありますが親元を離れて外国での生活を体験するというのは、何ものにもかえがたい経験だとおもいます。出来るだけ多勢の中学生、高校生に交流事業に参加して頂き貴重な体験をして欲しいと思いました。



今、積極的に英語の勉強

橋向 中3 根本 彩

高2の兄がホームステイをしたこともあって、昨年わが家ではホストをしました。私にもカナダ行きのチャンスがやってきました。言葉をはじめ、不安は沢山ありましたがジェスチャーでクリアしました。今、英語の勉強に力が入っています。後輩にもこの交流をすすめたいと思います。

一般訪問団 カナダの初夏に行く — 友情の門で交流 —

一期一会

市崎 山口 幸夫

平成12年5月5日、待望のカナダに到着し、人々の熱い歓迎を受け友情の門へと案内されました。「友情の門」という名にふさわしい、日本の伝統技術とサーモンアーム市との調和のとれた素晴らしい出来栄に感激しました。又、「先住民を大切にする」というカナダの考え方は、今の日本人に足りない部分であり、見つめ直す必要性を感じました。これからも世代を越えて、交流が続く事を願っております。



▲日加、力を合わせて
鯉のほりをあげる



▲故 成毛氏の
メモリアルプレートの前で



▲再会を喜び、市長と
板橋さんががっちり握手



▲カナダの空に映える鯉のほり



▲いけ花の伝授にいっしょうけんめい



▲ログハウス見学

姉妹都市訪問団のみなさん

団長 板橋 要(姉妹都市交流委員会) 副団長 畑山 運一(西代)
板橋 一江(市崎) 山口 幸夫(市崎) 山口 恵美子(市崎)
黒田 静江(伊佐部) 永長 均(幸田) 永長 辰徳(幸田)
森田 信夫(町田) 根本 郷(幸田) 山田 和雄(門関係者)

第 一 歩

第三回親善大使

伊佐部 鳥 羽 悦 子



真中が鳥羽さん

自分の将来を見つめ世界へ飛び立った第一歩、カナダ・サーモンアーム。希望・不安・好奇心で困惑していた私を待ち受けていたのは、地元の人々の温かい雰囲気や優しさの中で、文化や習慣を身をもって体験させてくれた素晴らしい日々でした。外国製品が簡単に手に入り、誰もが海外旅行へ行けるようになった現在ですが、ホームステイはその国の生きた言語を身につけながら、今日の世界の多様な価値観や考え方に直接触れ、新たな出会いと友情を築く事が出来ます。得た知識や経験は生きている限り失う事はありません。私もそうでしたが、東町の姉妹都市交流は極めて有意義な体験になるでしょう。

私はその後、アメリカのカレッジを卒業し、国内の航空会社を経て、外資系スチュワーデスとして再び世界へ飛び立てる様になりました。現在は更なる英語力向上とハングル語を勉強しています。誰にも言えなかった私の夢へのきっかけを下さった東町と、いつも理解・協力をしてくれた両親に心から感謝をしています。ありがとうございました。

姉妹都市によせて

青 野 俊 子

"Time flies" has a new meaning to me because it's already been ten years since the Twinning between Azuma and Salmon Arm began. At that time I had never heard of "Twinning"; no idea what it meant. However, working with my husband I became a small part of a big dream to coordinate a bridge between the 2 communities. No small task! The differences to work out seemed insurmountable. Language, culture, customs and even simple food were among a few of the many differences we would encounter. Little by little and thanks to all the good people involved, we have reached the 10 year mark. During this time I saw people learning to communicate with new friends and I came to understand the meaning of Twinning. This excellent chance to meet each other has impressed everyone with what can be done and inspired us to continue forward. In effect we have truly become more international. One needs only to visit Salmon Arm and see the beautiful Friendship Gate to witness this internationalization. I sincerely hope that more people will take this opportunity to cross the bridge. May this friendship last far into the future.

Toshiko Aono



〈プロフィール〉

下総在住。お母様の出身地が東町の余津谷。カナダで勉強中、サーモンアーム出身のクリスと出会い結婚。三人の息子の母親。流暢な英語で姉妹都市交流に多大の貢献。

〈要旨〉

早いもので姉妹都市交流のお手伝いを始めて10年がたちます。夫のクリスと共に交流の橋渡しをする中で、言語や習慣などの様々な課題がありました。しかし関係者の協力で東町との友好が強い絆で結ばれました。友情の門がそれを物語っています。このような出会いと事業に参加できて光栄です。沢山の方々が、この出会いと感動を体験して欲しいと思います。